



# 滝小だより

滝頭小学校学校だより 2018th

平成 30 年 10 月 31 日

## 11 月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

《学校教育目標》 手をつなぎ 進んで学ぼう 滝小の子



〒 235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344,0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/> **滝頭小** **検索**

Mail: [y3takiga@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3takiga@edu.city.yokohama.jp) カラー高解像度版は学校 HP に掲載中 Every day



### 絆いっぱい 笑顔いっぱい 大好き滝小

Everlasting Bonds , Shining Smiles , We ♡ TKG

## 90周年記念のSF18は、フェアプレーと絆いっぱい・笑顔いっぱい!!

校長 鶴飼 数夫

先日（10/20）、90周年記念滝小スポーツフェスティバル18が、無事終了しました。保護者・地域の皆様に多くのご参観をいただき、子どもたちに声援を送っていただきましたこと心よりお礼申し上げます。当日は、好天にも恵まれ、大変すばらしい一日となりました。

今年から、赤・白・青の3色対抗になり、クラスの団結やつながり、モチベーションがぐっと高まり、どの競技も大変盛り上がりました。また、各学年の演技は、子どもたちの発達段階や実態に合わせて様々な工夫や趣向を凝らし、計画的な練習を積み重ねたことで、感動的でいつまでも記憶に残るような素晴らしいものとなりました。それにしても、子どもたちのリズム感のよさや身体能力の伸長には、つくづく感心させられます。この一か月での伸びには、目を見張るものがありました。

子どもたちには、このSFを通して、最後まで全力で頑張る。フェアプレー精神を大切にする。リスペクト精神とは、勝負する相手は敵ではなく仲間であり、すべての関係者に感謝と尊敬をもつことなどを説いてきました。本番では、見事にそれに応え、表現してくれました。

高学年リレーでの出来事です。本部席前のテイクオーバーゾーンで、ドラマが起こりました。それは、レースも後半にさしかかろうという場面でバトンパスをしようとしたところ、次走者の手には届いたのですが、つかみきれず地面に落ちてしまいました。次走者は、足元に転がるバトンを見つめるだけで拾うことをしません。「えっ!どうしたの!?!」と一瞬思ってしまいましたが、すぐに意味が分かりました。バトンパスが完了していない状態では、次走者がバトンを拾ってはいけないルールなのです。すぐに前走者が拾って改めてバトンをつなぎました。これは、練習の中で、しっかりと確認し、指導されてきたのだということがよくわかりましたが、本番のあの混乱した場面で、きちんとそれを守り実行した子どもたちのすばらしさに拍手を送りたいと思います。そして、大方の順位も見えてきてしまうほどの差がついても、最後まで全力で走り切りました。これこそがフェアプレー精神でしょう。

実は、このバトンパスにまつわるフェアプレーは、後日（10/26）開催された、サポーターズリレーでも全く同様の場面が見られたのです。今年のリレーメンバーは、SF当日出場する選手と補欠の選手と一緒に練習してきました。そのため、当日に出場できなかったメンバーたちによるリレーを翌週に行ったのです。本番とほぼ同じシチュエーションで、保護者の皆様にも参観していただき、全校で応援しました。一緒にしっかり練習してきたからこそ、同様のフェアプレーが見られたのだと思います。SF当日にも負けないぐらいの白熱した素晴らしいリレーでした。やはり大事なことは、結果ではなく、ここに至るまでの過程です。過程とともに、他者を大切にする精神が絆を深め笑顔があふれる源になるのだと思います。

最後に、入替保護者席の運用や駐輪禁止・禁酒・禁煙など、この大会を支えてくださった地域・保護者の皆様の陰のフェアプレーに深く感謝申し上げます。

